

「福川地域協育ネット」

～福川を愛し心豊かで生き生きと活動する子どもを育てる～ 【周南市 福川中学校区】

地域の概要

福川中学校区は、旧新南陽福川地区を中心とし、かつては旧山陽道沿いの宿場町として栄え、商工業・農業・漁業に従事する家庭がほぼ同数でしたが、瀬戸内工業地域の一角として、工業関係企業の進出が進むとともに工場へ勤める家庭が急増しました。校区内に新興住宅地が開発され、人口も増えた反面、旧市街の高齢化が進み、児童生徒数が減少しています。地域の教育への関心は高く、PTA活動も盛んです。

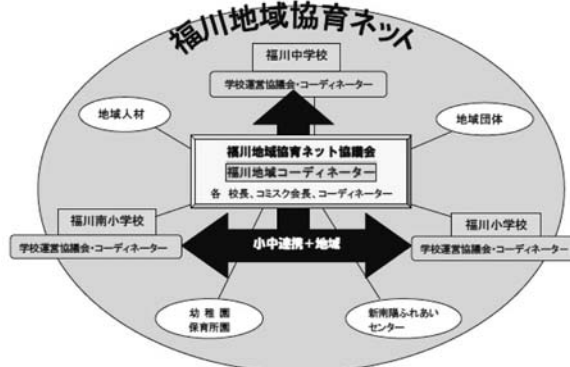
人口	9,536人	
世帯数	4,049世帯	
対象校及び児童生徒数	福川中学校	270人
	福川小学校	237人
	福川南小学校	257人

組織の内容

平成24年度に周南市全小・中学校にコミュニティ・スクールが導入されるとともに、福川中学校区では、福川中学校・福川小学校・福川南小学校の3校による「福川地域学校運営協議会」（「福川地域協育ネット」協議会）を設立しました。

2年間は各校の取組を情報交換することが会議の主な内容でしたが、今年度から、「福川地域協育ネット協議会」として、各校の学校運営協議会長、コーディネーター、校長、地域全体のコーディネーターと市教委2名を合わせた12名を構成メンバーとし、中学校区全体で取り組む活動について、学期に1回協議しているところです。

地域コーディネーターが、全体の調整役として、会議の日程調整や進行、学校間の連絡、小学校の行事の補助をする中学生ボランティアの調整をしています。また、地域協育ネットの取組について、学校はもとより地域全体に周知、広報する「地域協育ネットだより」を作成することにより、運営が軌道に乗りつつあります。



特色・重点的な取組

協議会を学期ごとに開催し、地域コーディネーターの進行により、活動の方針や内容を協議しています。1回目の協議会では、「福川を愛し、心豊かで、生き生きと活動する子ども」を地域全体で育てることに決定しました。校長が集まって企画会議を行うことにより、2回目の協議会では地域の取組について具体的に協議ができるようになりました。

今年度は、福川中学校・福川小学校・福川南小学校の3校が、無理なく継続して実施できそうな共通の取組として、「清掃活動」と「あいさつ運動」を、地域との連携を広げながら実施することにしました。

○クリーン大作戦

- ・10月31日前後の1週間を「クリーン週間」とし、保護者・自治会等に呼びかけて一緒に清掃活動を実施。小学校はクリーン登校、中学校は地域清掃ボランティアとして取り組みました。
- ・地域清掃と地域学習を兼ねた若山城登山道の清掃活動を、地域を主体として3月に実施予定。

○あいさつ運動

- ・学期始めの3日間～1週間程度、児童生徒、教職員、保護者、地域の方が協働して、通学路、自宅前、各校の校門等で実施。

主な活動の紹介

○クリーン大作戦

小学校はごみ拾いや草引きなどのクリーン登校、中学校は毎年地域清掃ボランティアを実施しています。地域の方や保護者もたくさん参加してくださいました。



福川小学校



福川南小学校



福川中学校

○あいさつ運動



福川小学校



福川南小学校



福川中学校

○「福川地域協育ネット」だよりの発行

「地域協育ネット」の取組について、地域コーディネーターがたよりにまとめて発行し、学校・家庭・地域に情報発信して、「地域協育ネット」の活動の周知・啓発に努めています。



「福川地域協育ネット」だより

成果と課題

〈成果〉今年度は、地域全体で取り組む活動を二つに絞って、同じ日に同じような活動を3校が別々に実施することで無理なく活動することができました。また、地域の方々も参加、協力しやすいように役割分担をして、実践に結び付けることができました。

各校の学校運営協議会や「福川地域協育ネット」だより、学校だより等で教職員・保護者・地域と情報を共有し、地域と連携した取組の具現化を図ることができました。

〈課題〉3校それぞれの取組から統一性のある活動へ発展させていくことが必要です。また、学校主導で実践したことと、周知不足のため地域全体にまで活動が広がらなかったことも課題です。

今後の取組

今後は、取組を充実させるため、3校の活動のよさを取り入れて具体化するとともに、取組を福川地域全体に周知し、気運を醸成して地域に根ざした活動にしていく必要があると思います。

また、地域のネットワークが更に広がっていくよう、協議会の構成メンバーを見直すとともに、地域コーディネーターや各校のコーディネーター等の役割を明確にし、連携を深めていくことが重要になります。

さらに、学校主導で進めてきた取組を、地域と協働する取組に広げていくことにより、地域ぐるみで継続していくことができる体制づくりを進めていきたいと考えています。